

党市議団が市民団体と懇談 市民要望実現の予算編成を!

日本共産党市議団は、2025年度予算要望書作成にあたり、市民要望を最大限反映させるために市民団体と懇談し、要望の聞き取りを進めています。
予算要望書は、11月22日に提出する予定です。

今年度、带状疱疹ワクチン補助が実現

2024年度の予算要望書は、保健福祉の充実、地震・水害対策、生活環境整備、芸術・文化・スポーツの発展など、307項目に及ぶ要望を提出しました。
そのうち、子ども医療費18歳まで入通院とも無料化、带状疱疹ワクチン接種補助

が今年度から実現しています。

人口減少に歯止めをかけ、若い世代・子育て世代の人口を増やし、街に活気を取り戻すこと。さらに、年金引き下げ、医療や社会保障の負担増に苦しむ高齢者が安心して年齢を重ねられる医療・介護の充実など、全ての市民に健康で文化的な生活が保障される市政の実現に向けて、市民要望を市政に届け、実現をめざします。

これまで6団体と懇談しさまざまな要望を伺ってきました。

これまでの懇談で出された主な要望を紹介します。(順不同です)

地域公共交通の充実、高齢者割引を

●保険証を廃止しないほしい。

●年金が下がり続けて、物価が上がりに、医療費や介護保険が上がりに、高齢者の暮らしが本当に大変。高齢者に優しい市政になってほしい。

●公共交通の充実を望みます。春日部でもデマンド交通を導入してほしい。また、春バスは70歳以上の運賃を割り引いてほしい。

●生活保護の窓口で、いわゆる「水際対策」がおこなわれている。「申請したい」と言っても「相談」にすり替えられる事例があるので、「生活保護は国民の権利である」ことを「生活保護のしおり」に明記し、職員もその立場で職務にあたって

ほしい。

●医療や介護の職員が確保できず、人材派遣会社に頼らざるを得ない実態がある。派遣会社への手数料が経営を圧迫し、人件費にまわらない。

●障害者入所施設を春日部につくってほしい。医療的ケアが必要な人がケアを受けられる施設がない。障害があっても住み続けられるようにしてほしい。

●地区センターのこどもの居場所は、あまりに貧弱。少なくとも専任の職員を配置し、子どもたちが楽しく過ごせる工夫をしてほしい。

●「請願が採択された」「学校給食費無償化」実現を

●学校給食室へのエアコン設置、男女別の洋式トイレなど改善が急務。働く環境としても、食品衛生上も問題あり。

●集会施設の改善を

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
10/27(日)有賀内科クリニック(内科系)中央1-4-6TEL760-2703 竹田クリニック(小児科系)
武里団地3-23-103TEL735-4501 佐藤整形外科(外科系)大場1385-3TEL731-4550
11/3(日)かすかべ生協診療所(内科系)谷原2-4-12TEL752-6143 ファミリークリニックまの
(小児科系)千問1-59-5TEL736-5155 さだまつ眼科(外科系)下大增新田261-5TEL731-5040

休日の当番医